第 58 号

西中の風

伊丹市立西中学校長

~『信頼と笑顔』毎日1,500の思いやりあふれる学校生活 へ

豊田 實

『無監督テスト』と『無人販売』

~富山市立速星中学校では~

日本国内、全国を見わたすと、日常における生活ですばらしいと絶賛したい学校があります。

計画を進めている先進校訪問先では、長年にわたり無監督テストと無人販売の実践で、生徒たちが主体的に自律し成長しています。「信頼」はあたたかい思いやりの基盤となるものです。



信じ合える仲間(生活集団)になろうとすること は、失敗を許し、道理にあわないことを言えない、 身勝手は慎もうという安心感に包まれた生活の場 を、お互いの存在を認めながらつくっていくこと す。生徒たちの成長のために強く意識して職員に周 知していることがあります。「品位を身に付けた生徒」を育てたいということです。職場では教師は言 葉遣いを洗練するように、繰り返し伝えています。 ていねいな言葉でわかりやすく話すこと、多感な年 頃である生徒の微妙な心情にふれる話をする先生に なることが教育者としてのつとめです。教育の専門 家として熱意や考えが伝わるよう語り上手になるこ とです。「長い、くどい、つまらない」と感じるよ うな語りを続ければ生徒は育ちません。また、怒る といった圧力による指導ばかりでもすべての子ども の成長は望めないのです。教師は生徒にとって教育 環境そのものです。人の成長には、品位のある教え 方に接することによって生徒たちに刷り込まれると いう一面があります。

かなり以前から実現可能かどうか、考えていることがあります。「生徒たちが教室を空ける際に鍵をかけない」で過ごすことです。小学校では普通教室に鍵などつけられていないのです。入学当初は「あれっ?」と多少疑問を感じる生徒もいるように思います。トラブル防止のために施錠しており、極端な話になりますが人を信じることができない現実があ

ることを示しているのです。

本校では、「信頼」(教師・生徒・保護者)を本校教育活動の基本として掲げており、生徒同士の信頼は思いやりにつながり、教師と生徒の信頼は学力向上に直結すると捉えています。また、尊敬される教師は生徒の将来の生き方にも影響を与えます。学校経営ビジョンとして、首尾一貫させて「信頼」を醸成することが、生徒の育ちに「西中の風」を感じていただけることにつながります。



12/5音楽鑑賞会 本校体育館 ヒダノ修一「スーパー太鼓セッション」 ※ホームページ特集をご覧ください

なぜ?スマートフォン所持を控えるよう啓発しているのか、このたびの講演(大人向けの内容)では、 想像を超えたケースが示されます。

講師は、その場でインターネットをあやつります。 一般人のプライバシー漏洩など、わかりやすく投影 し解説されます。

【本校人権教育講演会 兼 家庭教育講演会】 主催:伊丹市立西中学校PTA地区活動部・福祉教養部 すこやかネットいなの&すずはら推進協議会 ポータブル機やスマートフォンに潜む危険 ~あなたの投稿は消えない~

日時 平成 25 年 12 月 17 日(火) 14:25 ~ 15:25

場所 伊丹市立西中学校体育館

講師 NIT 情報技術推進ネットワーク

代表 篠原嘉一 氏

※ 生徒たちは保護者向け講演会に先だって同日 5 校時 に聴講します。また、校区小学校教員、保護者も参 加します。



12/6朝日新聞記者の取材がありました。 体育授業では、伝統武道である薙刀(なぎなた)を 習います。







11/23阪神北オータムフェスタ いたみホール すでにホームページに掲載していますが、当通信でも生徒 たち「ゆるキャラ」ボランティアの活躍を紹介します。









